資料5

知床世界自然遺産登録 20 周年事業　「世界遺産と地域」の進捗について

1. 実施体制と経過

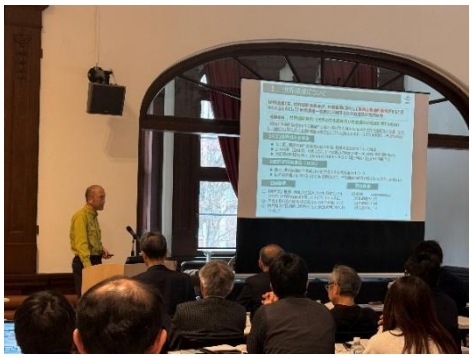
主催／　公益財団法人　知床財団
共催／　知床国立公園 60 周年・世界遺産 20 周年記念事業実行委員会
（環境省釧路自然環境事務所・林野庁北海道森林管理局・北海道・斜里町・羅臼町）
後援／知床世界自然遺産地域連絡会議・知床世界自然遺産地域科学委員会

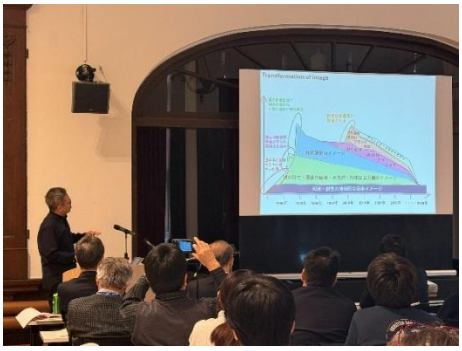
上記の実施体制で、これまでに知床世界遺産地域 20 周年記念実行委員会や科学委員会、各 WG 会議等での提案・報告・協議を行い、2025 年度に 2 回のシンポジウムを以下のとおり実施した。

2025.11.13　知床シンポジウム（斜里町）を開催
2026.2.28　総括シンポジウム（札幌市）を開催

2. 総括シンポジウムの実施結果

テ　ー　マ: 知床世界自然遺産登録 20 周年記念シンポジウムー知床世界自然遺産と地域のこれからー
実 施 時 期:2026 年2月28日（土） 10:30～16:30
開 催 場 所:札幌市赤れんが庁舎2F 赤れんがホール（国の重要文化財 道庁旧本庁舎）
対　　象：一般市民・学生、科学委及びＷＧ委員、関係団体・行政機関、報道機関
実 施 方 法：現地参加・オンライン参加
参 加 実 績：赤れんが庁舎会場への参加 88 名、Zoom ウェビナーからのオンライン参加 85 名の計 173 名





プログラム

時間配分		内　　容	氏　名
第Ⅰ部	10:30～10:40	**開会** 挨拶/各機関代表紹介	総合司会/山本幸 挨拶/北海道庁
	10:40～11:40 (質疑10分含む)	**基調講演** テーマ「仮/世界遺産地域のガバナンスの現状と課題」	九州大学 田中俊徳 (奄美-沖縄科学委員)
	11:40～12:00	**地域からの報告** 発表1「世界遺産20年のあゆみ」	(調整中)
	(昼食)		
第Ⅱ部	13:00～13:20	発表2「知床観光の20年」	知床しゃり/河井 謙
	13:20～13:40	発表3「地域産業としての漁業とその変化」	羅臼漁協/太田大輔
	13:40～14:00	発表4「仮/記者からみた知床の20年」	読売新聞/石原健治
	14:00～14:15	休憩	
	14:15～14:30 ① 14:30～14:45 ② 14:45～15:00 ③ 15:00～15:15 ④ 15:15～15:30 ⑤	**科学委からの報告**(15分×5WG・成果と課題のトピック) ex「知床で何をしてきたか？」 「知床で何が分かったか？」 「知床の課題は？」	河川 海域 エゾシカ ヒグマ 適正利用
	15:30～15:40	休憩	
	15:40～16:20	**トークステージ** 田中俊徳・中村太士・愛甲哲也 「知床世界遺産地域のガバナンスと地域のこれから」	進行 知床財団/村田良介
	16:20～16:30	**閉会** 挨拶	挨拶/林野庁

3. 今後の予定 - 原稿の依頼と記念誌の発行

2026 年度は、2 回のシンポジウムで議論された内容に加え、関係各位に執筆いただいた原稿をとりまとめた記念誌を発行する予定。記念誌の編纂にあたっては、引き続き「世界遺産と地域」をテーマとし、以下の構成を想定している。

記念誌の構成(案)

(1)地域にとっての世界遺産(地域関係者によるレポート)
(2)科学委員会のあゆみとこれから(委員長・WG 座長による総括レポート)
(3)個別分野の取組みとこれから(有識者・WG 委員・地域関係者のレポート)
(4)シンポジウム記録
(5)資料編(知床白書等の活用等)

- A4 版、カラー、150ページ程度
- 発行時期 2026 年度中
- 発行部数 1,000 部程度を予定。各関係機関や地域内外の教育機関等に配布予定。

◯原稿の依頼と取り扱い

今年度５月より順次、科学委員会および各 WG/AP 委員に記念誌の原稿執筆依頼を行ない、多数の委員からご提出を頂いた。ご協力を賜り感謝申し上げる。今後、編纂作業を進めるにあたり、１回程度の著者校正をご依頼する予定であり、重ねて協力をお願いしたい。